



河北町立西里小学校学校便り

発行：校長 須藤里佳

令和5年12月27日

nishizato



里の子フェスタ！ 笑顔満開

フェスタとは「祭」の意味だそうです。祭は「人々の幸せを願う」「感謝」を表すものです。里の子たちの元気なパフォーマンスで、家庭の皆さんや地域の皆さんに「幸せ」や「感謝」が届けられればと願いました。

オープニング 地域のお祭りの伝統行事を子どもたちに知らせたいという願いから、今年は「両所田植え踊り」をお願いしました。町からお借りした映像を流しながら、黒田大地さん（両所東）よりご紹介いただきました。衣装や面も展示しました。

1年生は劇「くじらぐも」。国語や算数でがんばっていることや図工の作品紹介などを入れ、西里小の1年生が勉強しているところに、くじらぐもが本当にやってきたようでした。大きな声と堂々と演じる姿に成長を感じました。

2年生は「西里ダンスフェス」。笑顔いっぱい踊る姿が、とてもかわいく、かっこいい2年生です。一人一人のダンスもすてきですが、それがそろってますます楽しいダンスフェスになりました。最後の決めポーズもそれぞれの個性が出ていました。

3年生は劇「三年とうげ～西里バージョン」。両所の下馬坂や根際じいの登場など、西里地区でおこった物語のようでした。ゆかいな笑いを誘う、伸び伸びとした演技には感心しました。長生きするように、みんなで転んだところも楽しかったです。

4年生は合奏と花笠踊り「里の子ステーション2023」。心合わせでの合奏はすばらしかったです。山形の良さを紹介しながら、難しい方の花笠踊りを披露してくれたのには驚きました。紅花を植えた4年生が花笠を踊るのも意味深いものでした。

5年生は民舞「西里ソーラン2023」。迫力ある踊りを例えるなら、「エネルギーがほとばしる躍動感！」。1人1人が輝いて踊っていました。自分たちで考えたフォーメーションや振付は見ごたえがありました。

6年生は、劇「タピオカツンドラ」。歴史学習をクイズ形式に入れ込んだ劇でした。6年生は学年閉鎖で時間が限られていましたが、よくぞ協力して劇を作り上げました。やりとげたことがすばらしいことです。恥ずかしさを乗り越えての演技でした。





ミカンに大喜び

山形新聞にも掲載されましたが、12月5日、原田満男さんのビニールハウスでミカンの収穫をさせていただきました。今年は、猛暑で栽培が難しかったそうです。

毎年、原田さんからのお誘いで、1年生がミカンの収穫という貴重な体験ができます。きっと一生の思い出になるでしょう。

親子でテレビを見よう

よく「親子で読書をしよう」ということは言われますが、「親子でテレビを見よう」とは、どういうこと???と思われるでしょう。

最近、家族そろっていても、ユーチューブやゲームなど各々好きなことをしているから会話も減っているという話を聞きます。また、新聞購入率も下がり、ニュースを知らないという人も増えていると言われます。

だったら、親子で一緒にテレビを見るのはどうでしょう。生き物関係の番組やクイズ番組、ニュースをかみ砕いた番組など、一緒に見て会話が増えたら、子どもにとってどんないいでしょう。頭も心も満たされます。冬休みいかがですか？



1月の予定

年末年始休業

12月23日(土)～1月8日(月)

12月28日～1月4日は閉庁。

緊急連絡は学校携帯へ。

(080-7661-4542)

9(火) 3学期始業式 書初め大会
一斉下校(通学路点検)

10(水) 子ども文庫

11(木) 3年警察署見学

12(金) 避難訓練

17(水) PTA 三役会

18(木) 1・2年チューブすべり

26(金) スキー教室(Asahi 自然観)

書初め展へどうぞ

1月10日～1月26日 16時半まで西里小食堂において行います。
どうぞお誘いあわせの上おいでください。

👁️ どうぞ! 今月の HP 👁️

- ・里の子フェスタ
- ・1年みかんがり
- ・5年収穫感謝祭
- ・おみせやさんごっこ
- ・雪あそび
- ・書初め練習
- ・授業風景
- ・終業式

